

2021年3月期

# 決算説明資料

株式会社K S K

1

## KSKグループ概要

2

### 業績の概要

前期との比較

過去の業績推移

(売上高・営業利益)

営業利益の増減要因

セグメント別業績

(売上高・セグメント利益・構成比・従業員数)

新型コロナウイルス感染拡大の影響とその対応

3

### 業績予想

4

### 中期経営計画「TRUST50」

TRUST50の概要

経営の基軸

(エンゲージメント・人材育成・CS向上)

健康経営

5

### Appendix ～ご参考～

1

# KSKグループ概要

## 株式会社K S K

設立	1974年5月23日（創業47年）
資本金	14億4,846万円
事業内容 (セグメント)	① システムコア事業 ② I Tソリューション事業 ③ ネットワークサービス事業
従業員数	2,186名（連結、2021年3月末現在）
本社	東京都稲城市百村1625-2
事業所	東京本社，日本橋，新宿，川崎，さいたま，浜松，刈谷，関西，熊本



## K S Kグループ会社

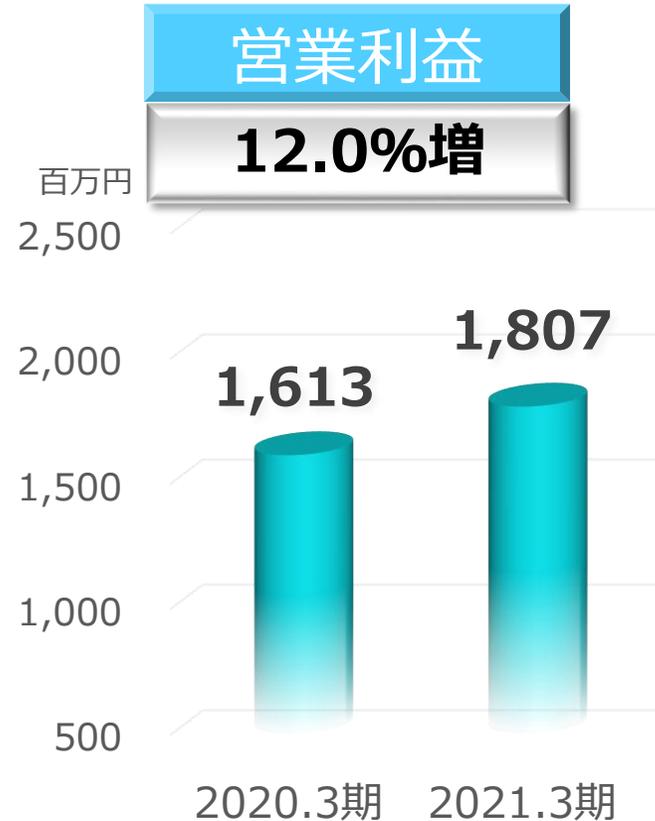
株式会社K S Kテクノサポート	資本金 5,000万円	東京都稲城市	ネットワークサービス事業/ I Tソリューション事業
株式会社K S K九州	資本金 2,000万円	熊本県熊本市	I Tソリューション事業

※ 株式会社K S Kデータは2021年4月1日、株式会社K S Kテクノサポートと合併いたしました。

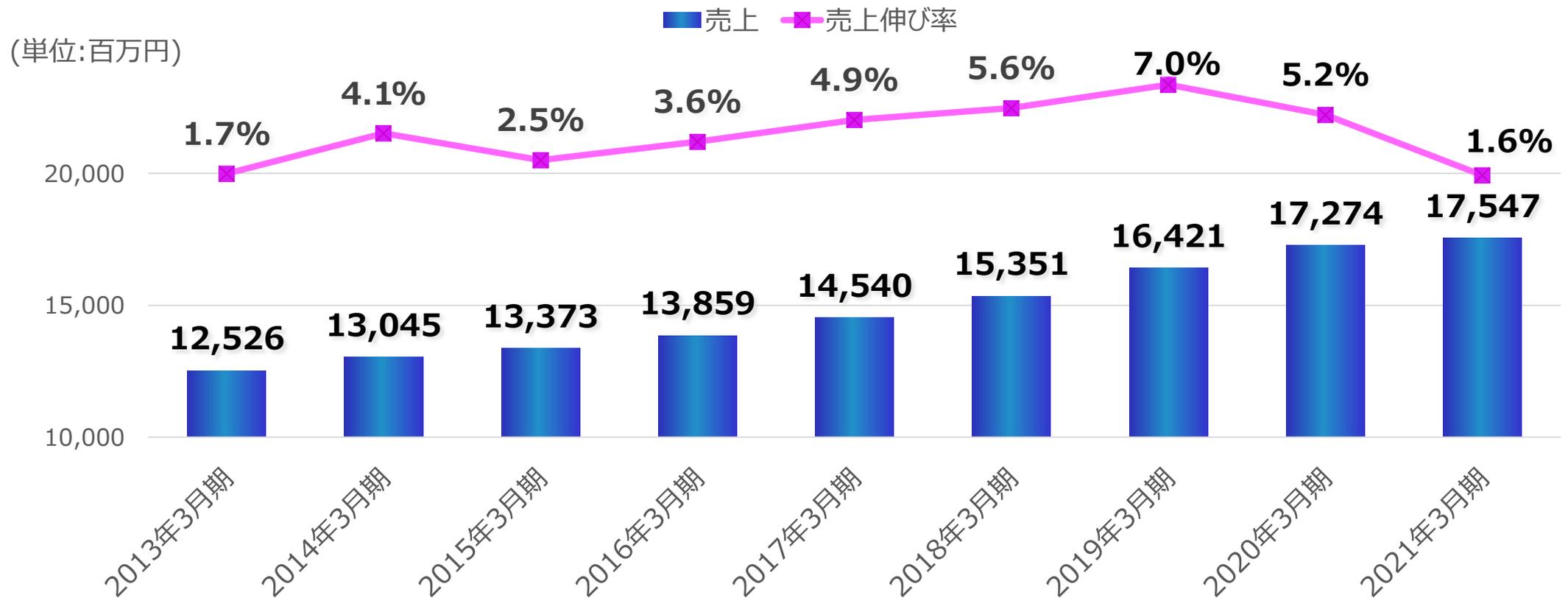
2

## 業績の概要

前期比で増収増益、売上高・営業利益・当期純利益ともに過去最高を更新しました。

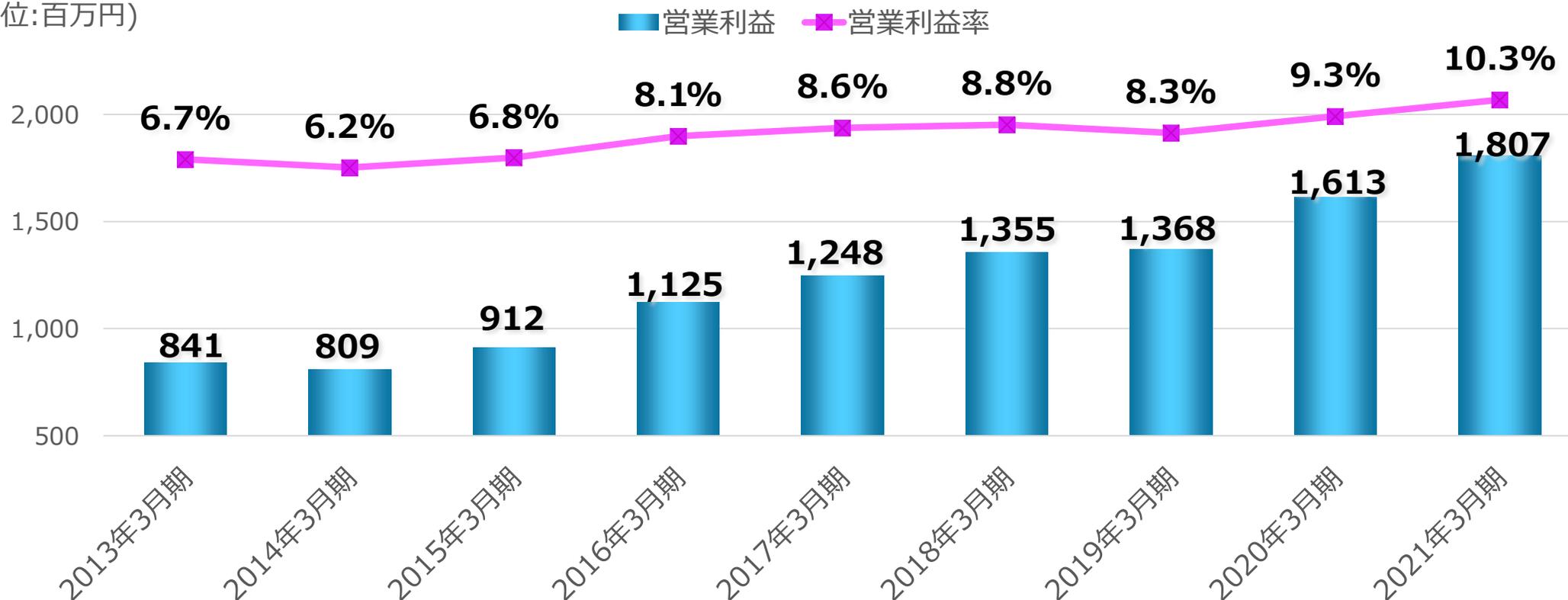


2013年3月期以降、9期連続増収となりました。



2014年3月期以降、7期連続増益となり、当期は過去最高の営業利益となりました。  
売上高営業利益率は2016年3月期以降、8%以上を確保しております。

(単位:百万円)



# 2-04

## 営業利益の増減要因（前期比）

原価率は前期比0.8ポイント悪化しました。主に人員増に伴う人件費・賞与増並びにコロナ対策一時金支給によるものです。一方、販売管理費は募集費・教育図書費を中心に減少しました。



# 2-04

## 営業利益の増減要因（前期比）

原価率は前期比0.8ポイント悪化しました。主に人員増に伴う人件費・賞与増並びにコロナ対策一時金支給によるものです。一方、販売管理費は募集費・教育図書費を中心に減少しました。



2020.3期

原価率の悪化	
給与等の増加	▲265
賞与の増加	▲378
コロナ一時金の増加	▲132
外注費の減少	274
出張旅費・交通費の減少	154

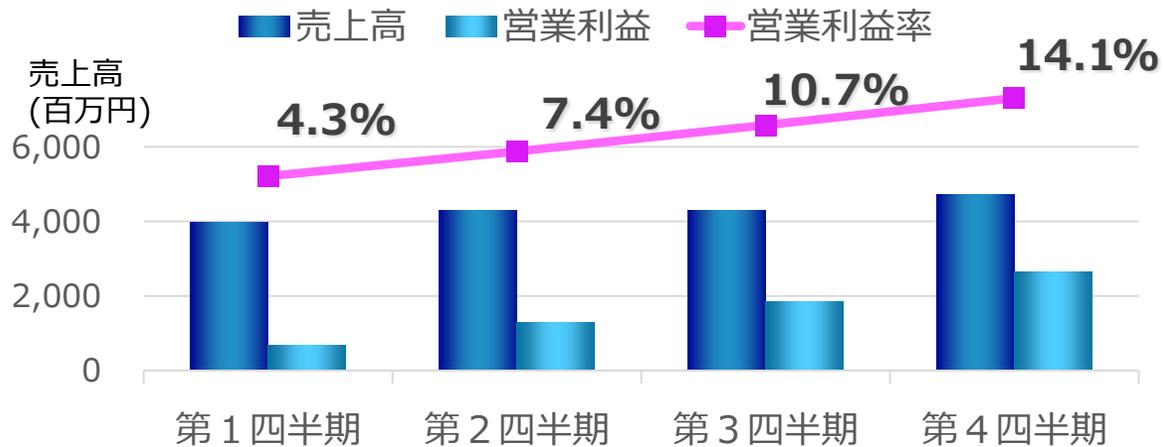
増収要因

販管費の減少	
募集費の減少	219
教育図書費の減少	78
研究開発費の増加	▲31

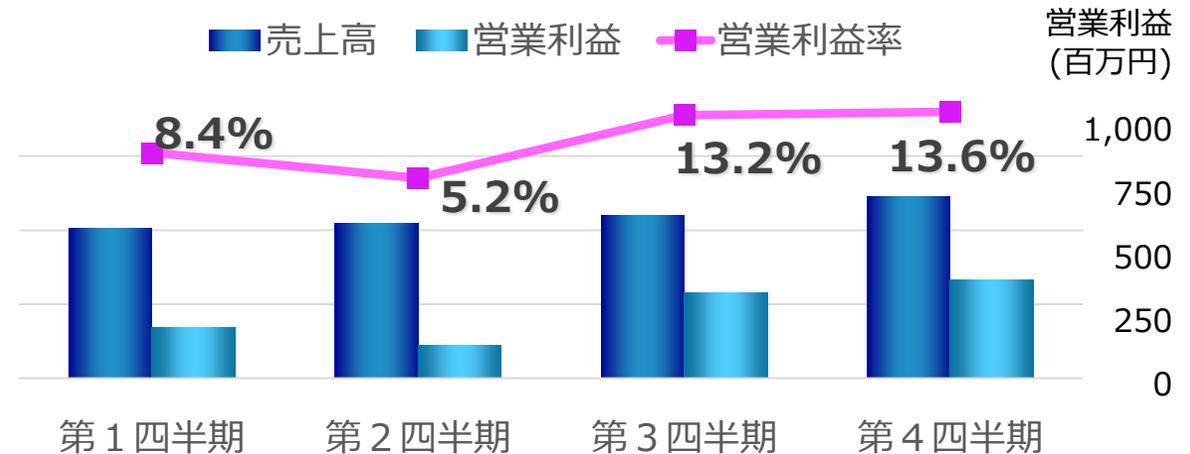
2021.3期

通常期は下期偏重の業績傾向ながら、当期はコロナ対策一時金支給による増加や、外注費・募集費・教育図書費などの減少により、四半期毎の営業利益率に変動がありました。

## 2020年3月期



## 2021年3月期



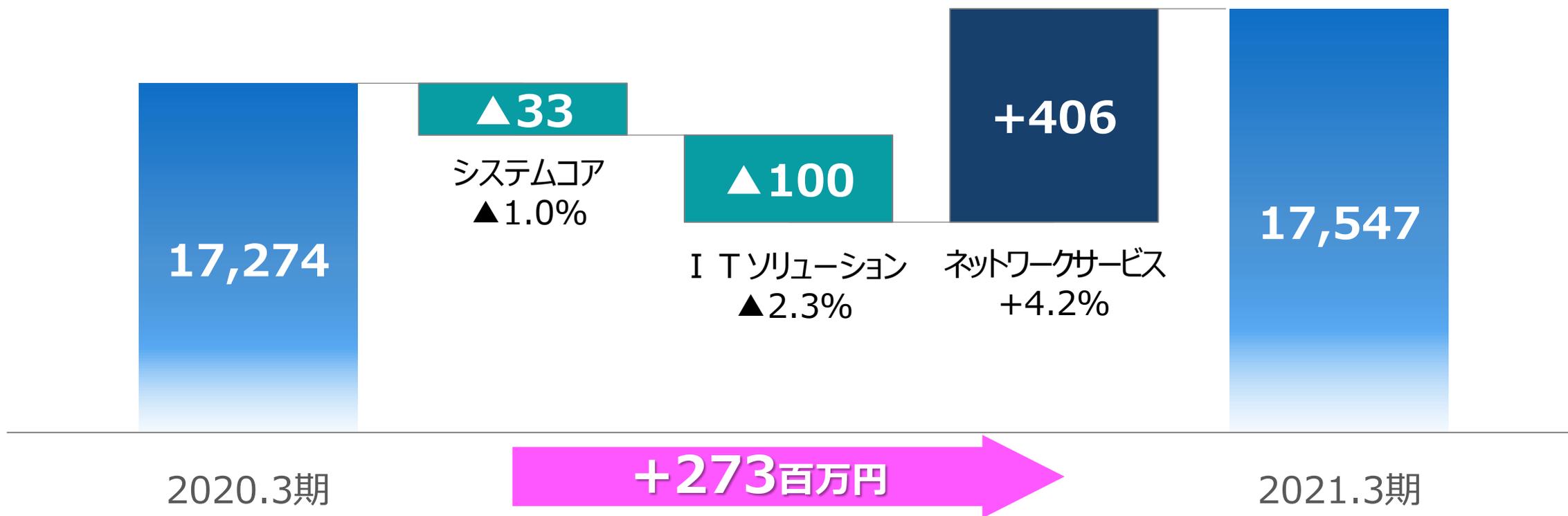
### 四半期毎の主要増減費用 (前年同期比)

(単位:百万円)	四半期毎の主要増減費用 (前年同期比)			
	第1Q対比	第2Q対比	第3Q対比	第4Q対比
賞与の増加	▲63	▲128	▲12	▲181
コロナ一時金の増加	-	▲91	-	▲46

※ 第2Q・第4Qにおける前年同期比営業利益率の低下は、主に人員増およびコロナ一時金支給に伴う費用の増加によるもの。

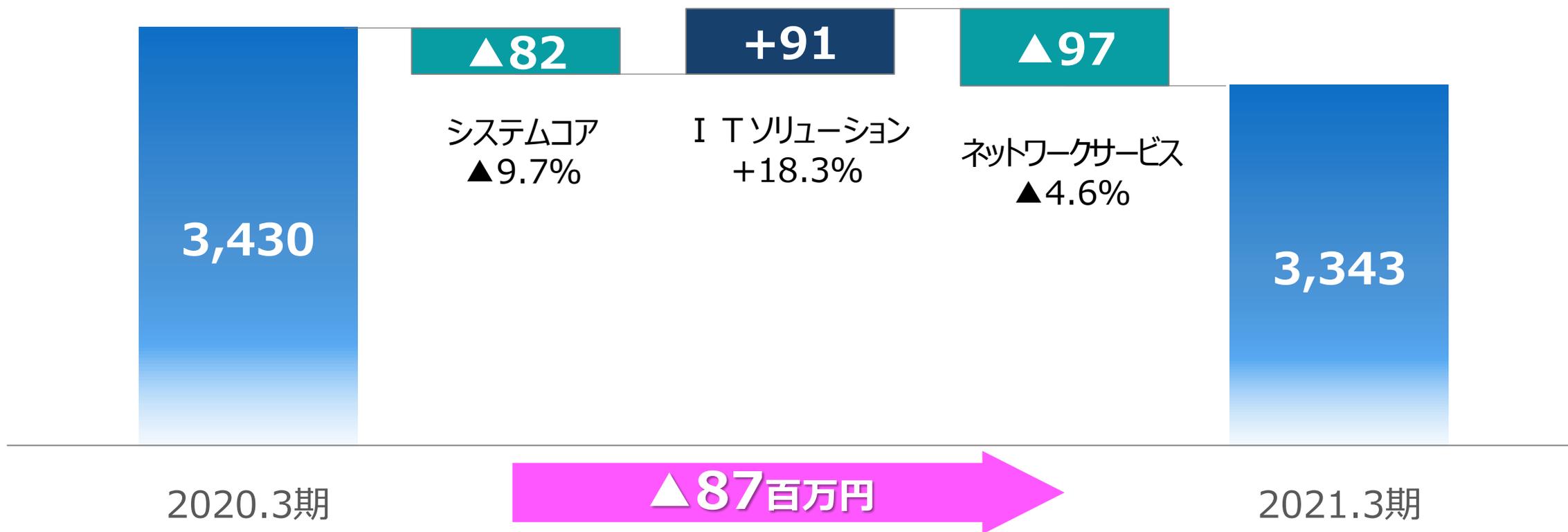
ネットワークサービス事業は前年同期比増収、  
システムコア事業および I Tソリューション事業は減収となりました。

(単位:百万円)



I Tソリューション事業は前年同期比増益、  
システムコア事業およびネットワークサービス事業は減益となりました。

(単位:百万円)



セグメント利益率は全体で前期比0.6ポイント低下しました。

(単位：百万円)

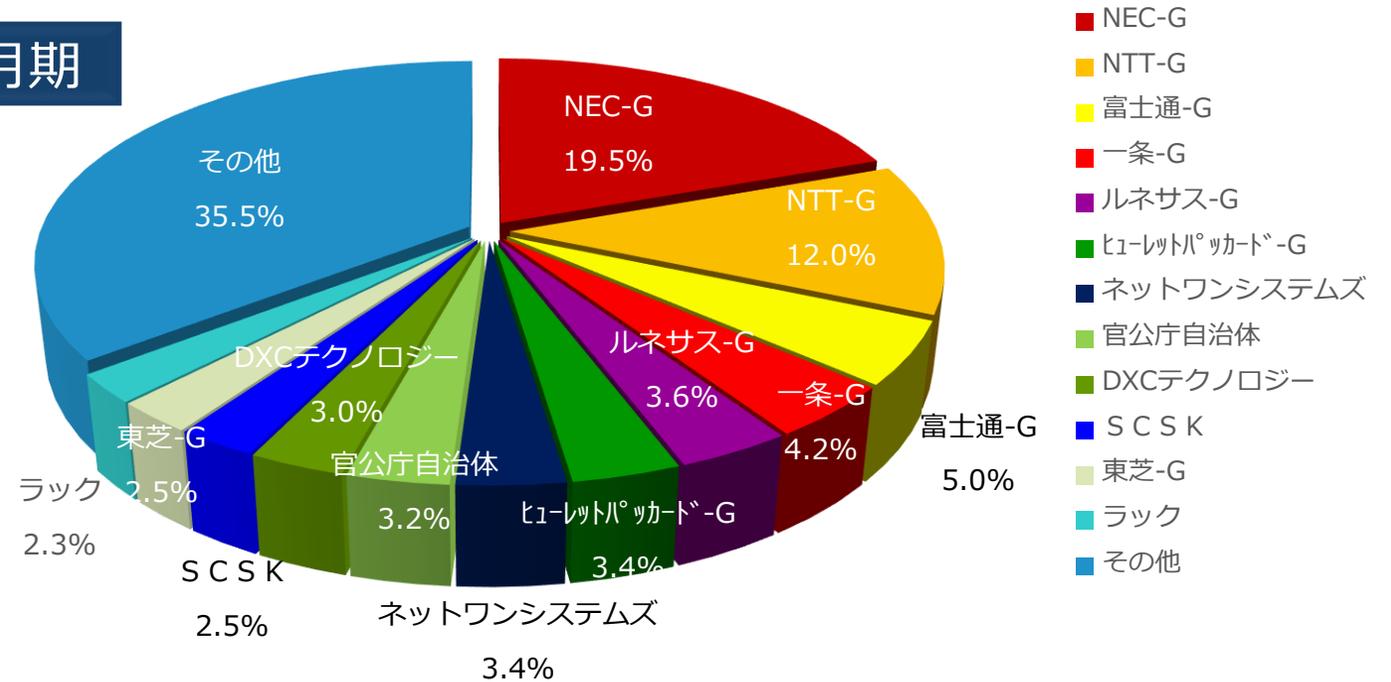
	売上高		利 益			
	売上高	前期比増減	セグメント利益	前期比増減	売上高利益率	前期比増減
システムコア	3,245	▲1.0%	762	▲9.7%	23.5%	▲2.2pt
I Tソリューション	4,251	▲2.3%	592	+18.3%	13.9%	+2.4pt
ネットワークサービス	10,050	+4.2%	1,988	▲4.6%	19.8%	▲1.8pt
合 計	17,547	+1.6%	3,343	▲2.5%	19.3%	▲0.6pt

2021年3月末の従業員数は、2020年3月末比111名増加し、2,186名となりました。

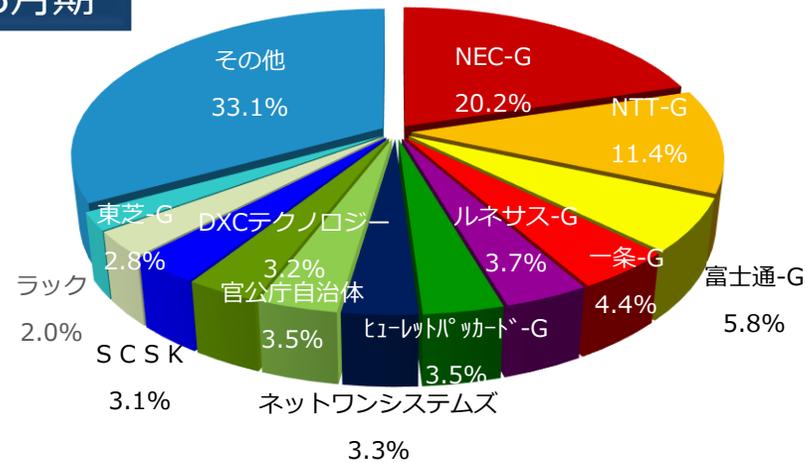
(単位：名)

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		増 減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減比
システムコア	307	16%	326	16%	352	16%	26	8.0%
I Tソリューション	403	21%	420	20%	418	19%	▲2	▲0.5%
ネットワークサービス	1,154	59%	1,234	59%	1,303	60%	69	5.6%
その他	91	4%	95	5%	113	5%	18	18.9%
合 計	1,955	100%	2,075	100%	2,186	100%	111	5.3%

## 2021年3月期



## 2020年3月期



### お客様別売上構成の変化

#### 【シェア拡大】

- NTTグループ 様
- ラック 様
- その他 … お客様の分散化による

#### 【シェア縮小】

- NECグループ 様
- 富士通グループ 様
- 東芝グループ 様

### ● システムコア事業（減収・減益）

- ✓ 通信機器部品の機構設計、医療装置の設計開発業務に関しては堅調に推移。
- ✓ 車載関連の半導体設計並びに組込ソフトウェア開発は、一部に回復の兆しがみられるものの、通期では市況の悪化に伴い受注量が減少。

### ● ITソリューション事業（減収・増益）

- ✓ スマートデバイス検証サービス、実機レンタルサービスが堅調。一方、自社開発のパッケージソフトウェアに関しては、改良や開発体制の整備が一巡し経費の負担は軽減されたが、コロナ禍により営業活動が制約されたこと等により、受注時期が遅れ今期業績には寄与できず。製造業向けのシステム開発案件などについても、一部受注が延伸。

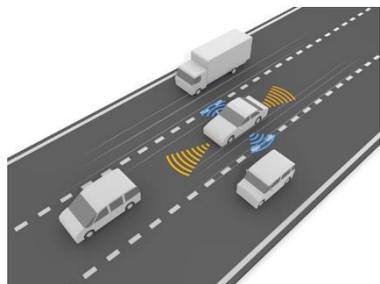
### ● ネットワークサービス事業（増収・減益）

- ✓ 堅調な需要に支えられ、引き続き規模が拡大。長期的な視野に立ち継続的かつ積極的な人材投資を行ってきたことで、受注機会を的確に捉え、拡大する需要に対応している。一方、新卒新入社員の稼働が例年より遅れ、収益への寄与が減少。

## システムコア事業

車載分野：電子化 → CASEへ

- ・車載用マイコン/SoC開発
- ・自動運転支援などの電子制御用ソフトウェア開発



通信機器

- ・部品の機構設計
- ・搭載される基板の回路設計



産業・民生用  
マイコン開発

ロボットの組込みソフト



PC向け半導体

- ・メモリデバイス設計
- ・テスター部品設計



スマートフォン向け

- ・CMOSイメージセンサー設計
- ・セキュリティソフトウェア開発
- ・筐体の構造設計

AI/IoT時代の多分野の開発に関与  
車載分野の変化に対応します

## ITソリューション事業

## ● 自社 P K G ビジネス

- ・ 住宅建設会社向けの総合管理システム  
住宅マネージャの販売、導入、運用支援



## ● システム開発支援

- ・ 製造業生産管理システム
- ・ 基幹系 Web システム
- ・ モバイル実機検証サービス



アプリケーションの力でお客様の  
ビジネス発展に貢献します

## ● A I

- ・ 現場を変える AI ソリューション開発  
AI-OCR/自然言語処理/点群データ

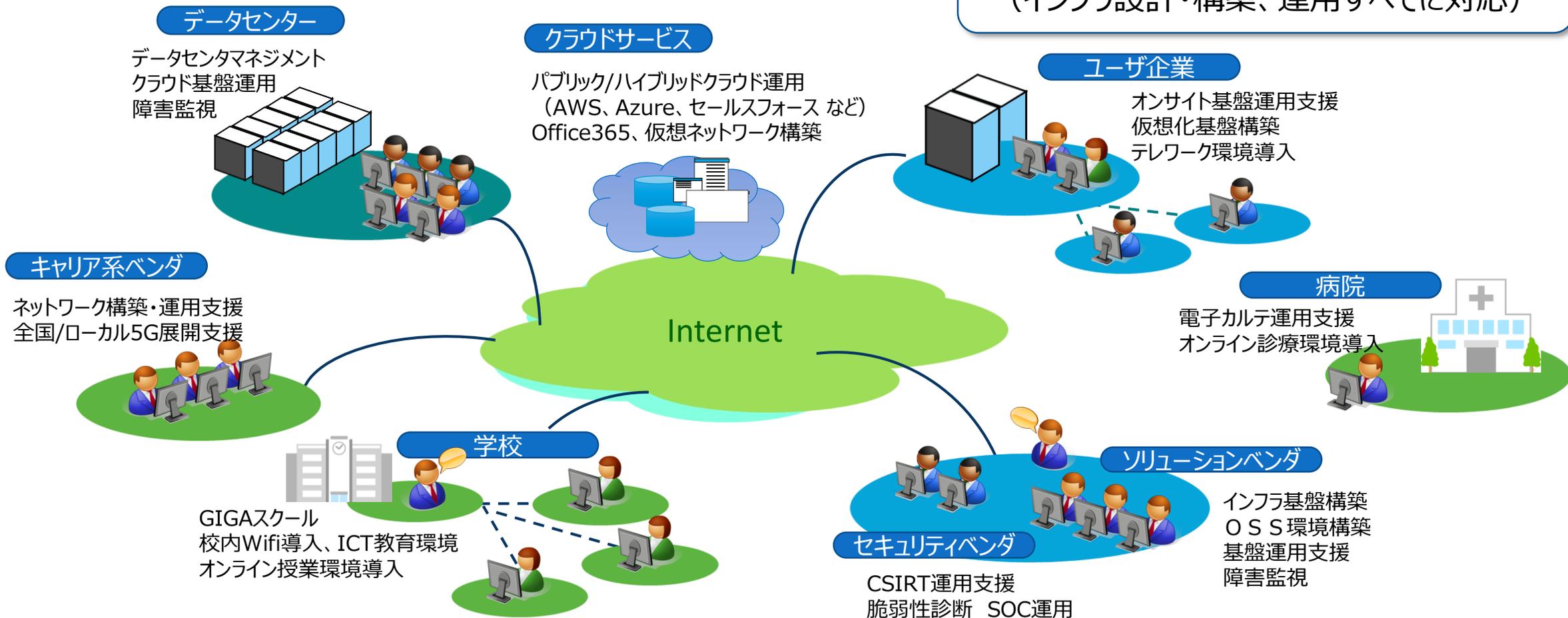


## ● B P O 関連

- ・ A I -OCR データエントリー業務
- ・ 函面データデジタル化支援業務
- ・ 健保組合向け人材派遣

## ネットワークサービス事業

DX社会のニーズに応えます  
（インフラ設計・構築、運用すべてに対応）



## 感染防止策

## ● ガイドライン等の制定と情報発信等

- ✓ スローガン「チームK S Kは一人も感染者を出さない」を制定
- ✓ 業務運営上のガイドラインや私生活におけるガイドラインの制定  
(独自のガイドライン改定基準で、状況悪化時に政府の動きに先行して対策強化を実施)
- ✓ 経営トップを本部長とする「新型コロナウイルス対策本部会議」を毎日開催しメルマガを発信
- ✓ 都内の拠点に東京都感染防止徹底宣言ステッカーの掲示

## ● 感染防止設備の拡充や感染防止のためのルールの制定

- ✓ 執務室内へのサーキュレーターや扇風機の設置
- ✓ 飛沫遮蔽シールド・非接触体温計等の設置
- ✓ 空気清浄機や加湿器の設置
- ✓ CO2濃度測定装置の設置
- ✓ トイレ除菌シートの設置
- ✓ 換気ルール、感染防止のためのゴミ捨てや歯みがきルールの制定

## 各種支援

## ● 社員や家族向けの物資面での支援

- ✓ マスク・携帯消毒ジェルを全社員に配布
- ✓ 会社負担によるPCR検査実施や診察体制の整備
- ✓ PCR検査キットを希望者に配布し検査の拡充
- ✓ パルスオキシメーターの貸し出し
- ✓ 自宅療養時の備蓄品リストの配布

## ● ワクチン接種を推奨するための制度支援

- ✓ ワクチン接種時のみなし勤務制度
- ✓ 副反応時の特別有給休暇の付与

## ● コロナ禍でのエンゲージメント強化支援

- ✓ バーベキューを通じて、互いに協力し交流を深めようという、BIC（BBQ Invitation Card）制度のオンラインでの実施を推奨し、物心両面で支援 → p.22
- ✓ サテライトオフィス“Cross Road”を開設し、コロナ禍での交流の場を提供 → p.23

従来エンゲージメント施策の一環として行っていたバーベキュー（“BIC”～BBQ Invitation Card～）の代わりにオンラインでの会食を推奨。補助金制度を導入し、コロナ禍での従業員のコミュニケーションの活性化を支援しています。

2020年6月以降、新型コロナウイルス感染症対策として、食べ物や飲み物を用意してオンラインで懇談する「オンラインBIC」を通じ、多くの社員が親睦を深めています。

【オンラインBICの様子】

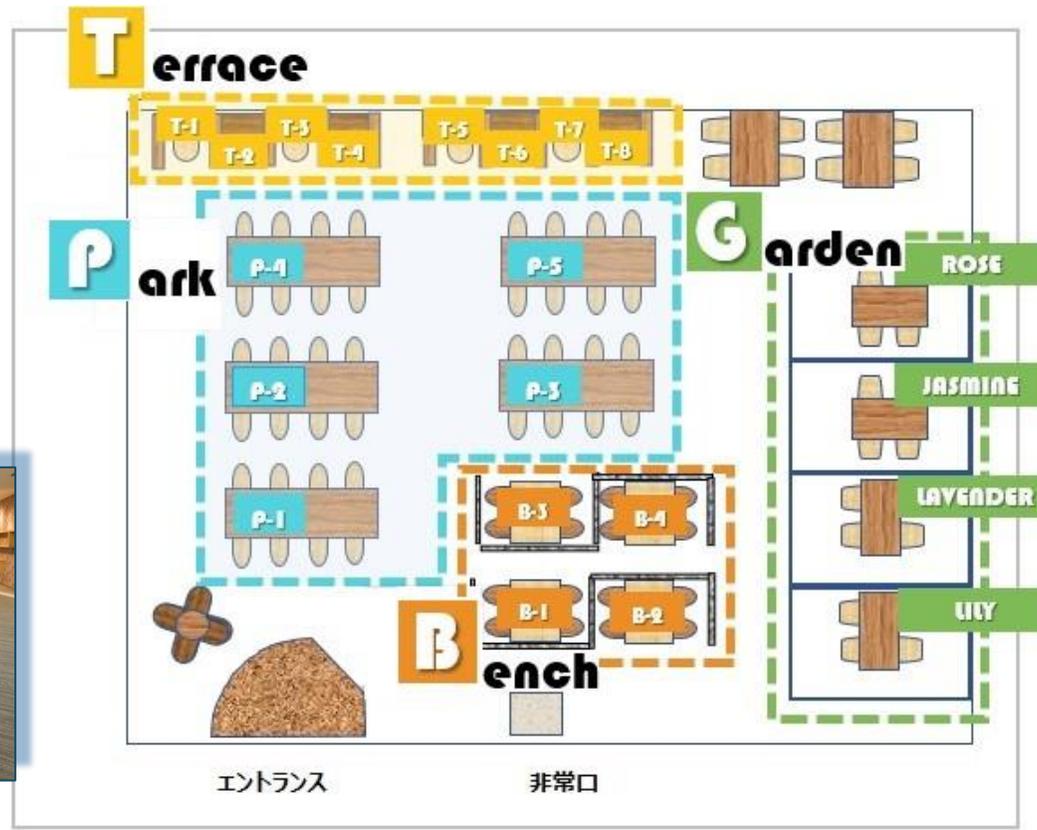


オンラインBIC参加延べ人数



21/5/25現在

2021年3月、川崎技術センター内に感染予防対策が施されたエリアでテレワークやWeb会議、ミーティングなどが行えるよう、オンライン設備を完備したサテライトオフィス「Cross Road」を開設いたしました。



3

## 業績予想

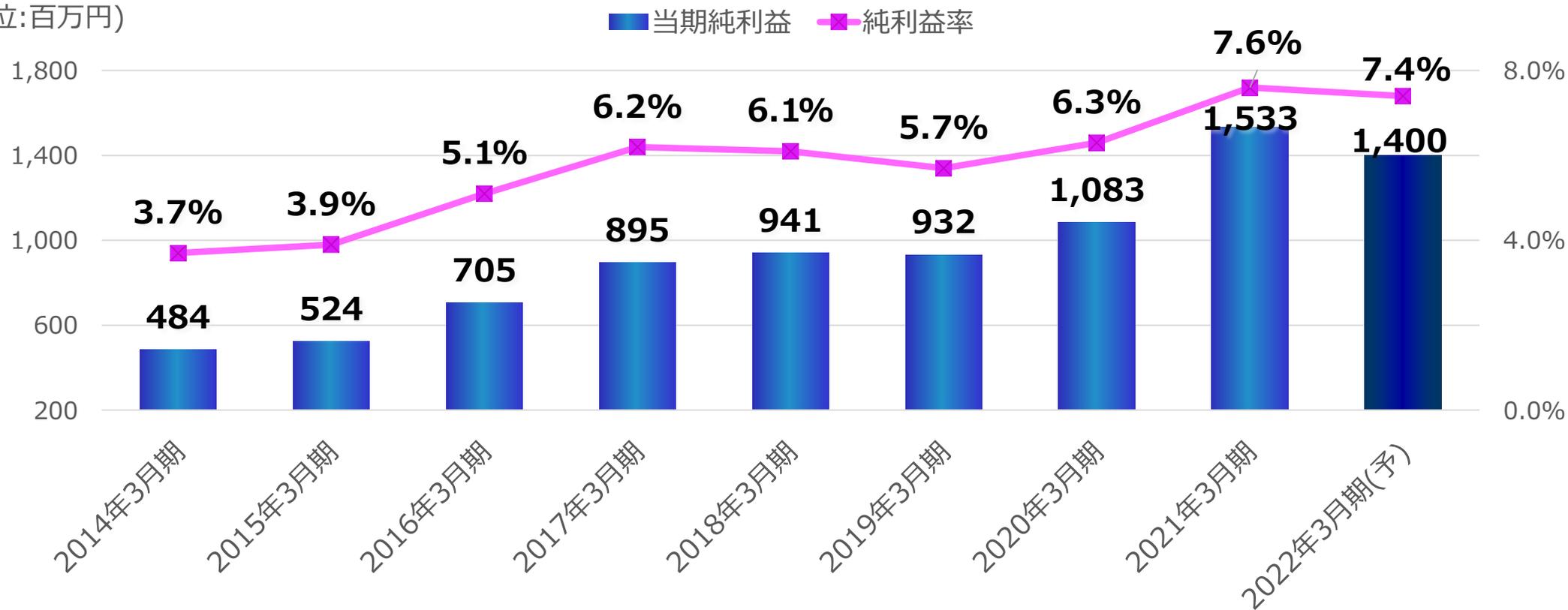
(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 (予想)	対前期比
売上高	17,547	18,800	7.1%
営業利益	1,807	2,000	10.6%
経常利益	2,275	2,100	▲7.7%
当期純利益	1,533	1,400	▲8.7%

	2021年3月期	2022年3月期 (予想)	配当性向
配当金	77円	71円	30.3%

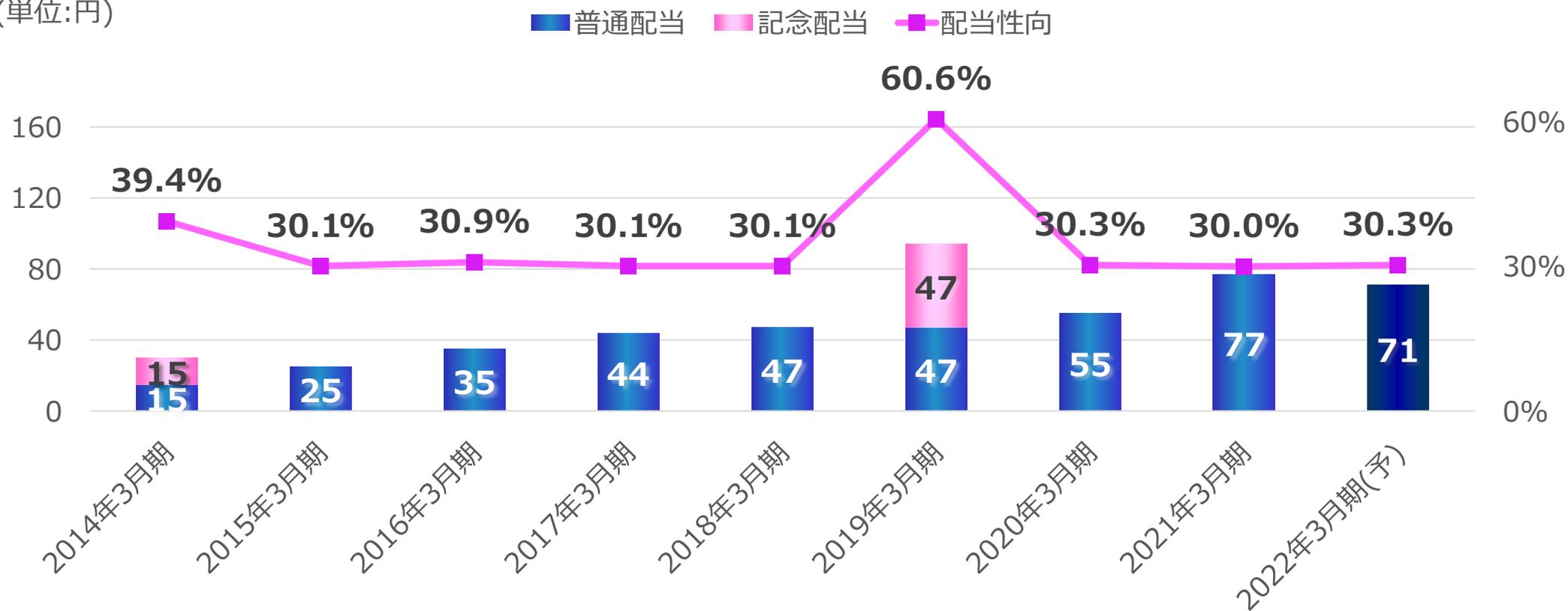
2022年3月期の当期純利益は3期ぶりの減益を見込んでおりますが、最高益を更新した2021年3月期に次ぐ高い利益予想となります。

(単位:百万円)



株主還元につきましては連結業績を基準に配当性向30%を目途に行うことを基本方針としており、2022年3月期末配当は71円を予想しています。

(単位:円)



4

# 中期経営計画「TRUST50」 (2019年4月～2024年3月)

## 1. 究極の品質

KSK品質を確立し、品質を強みにする企業集団となる

 施策事例：「かがやきプロジェクト」 (p.30)

## 2. 考える現場

あらゆる変化に対応し、更なる発展へ全社員が考える集団となる

 施策事例：「品質OK?」「ヨクスル」「サクサク提案」 (p.31)

## 3. プレミアムサービス

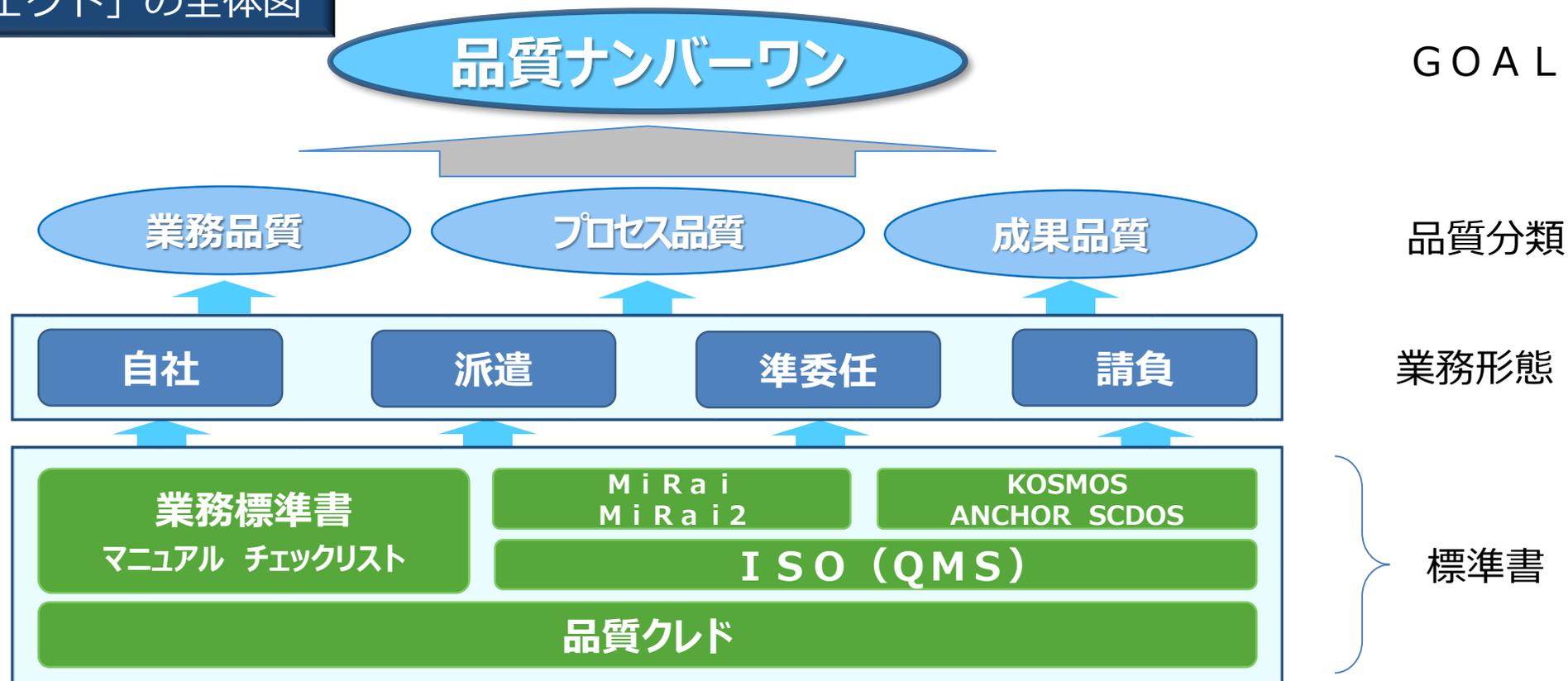
現場の強みを最大限に活かし、競合他社を圧倒するプレミアムサービスを提供する

 施策事例：「CSの基本方針」 (p.32)

**社員一人ひとりが自らの業務遂行力とKSKで働くことに誇りを持ち、  
最善の顧客サービス提供を通し真のパートナーとして信頼される、そんな会社でありたい。**

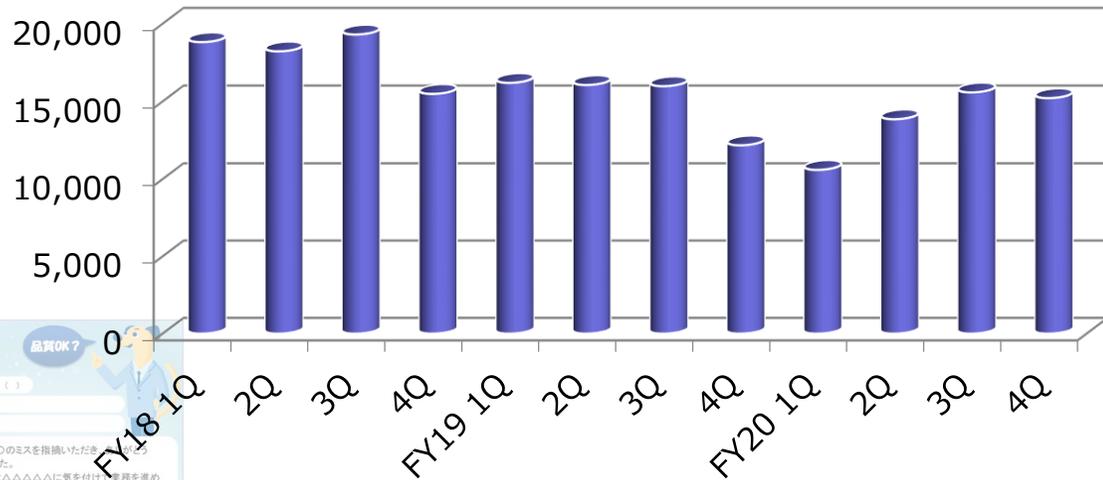
2017年4月に「品質ナンバーワン」をVISIONに「かがやきプロジェクト」を立ち上げ、「人質向上」「標準化」「自動化」の3つの取り組みを行い、品質を高めております。

「かがやきプロジェクト」の全体図



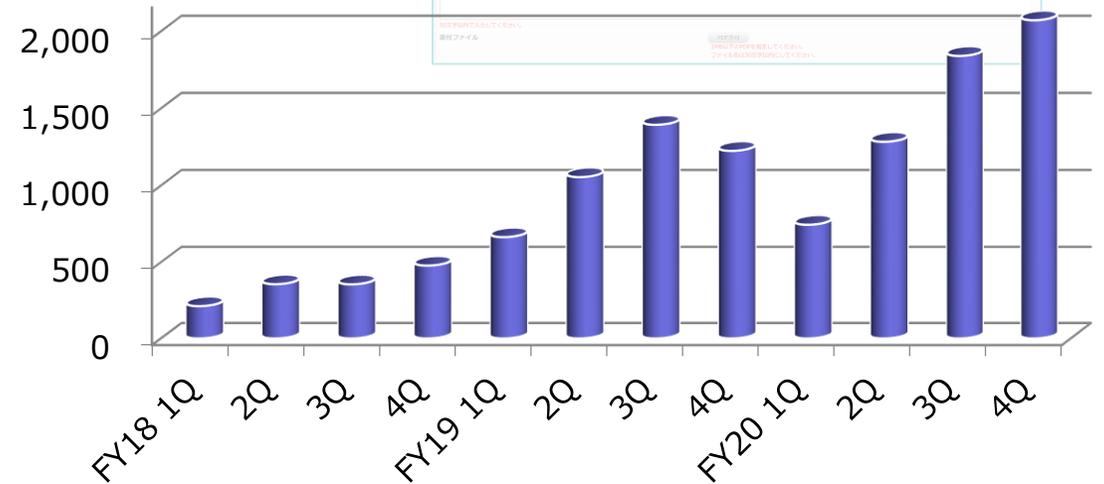
更なる発展へ全社員が考える集団となる「考える現場」を浸透させるために、指摘しあえる風土の定着に向けた取り組みとして「品質OK?カード」や、現場での業務改善・工夫などの気づきを提案制度「ヨクスル」などを実施しています。

### 「品質OK?」カード受信枚数の推移



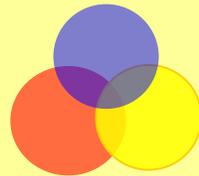
「品質OK?」は月平均5,000枚受信  
 「ヨクスル」は月平均495件の提案があがっている  
 (2020年度実績)

### 「ヨクスル」提案件数の推移

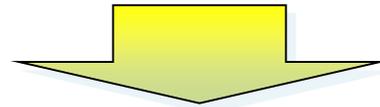


KSKグループでは、CS向上の基本方針である「(お客様の)期待以上」「(KSKの)役割以上」「(KSKの)報酬以上」をスローガンに掲げ、CS活動を展開しております。

以下の要素を三位一体で提供する



- **技術** (QCD)
- **信頼** (安全・安心・誠実)
- **快適** (ホスピタリティ)



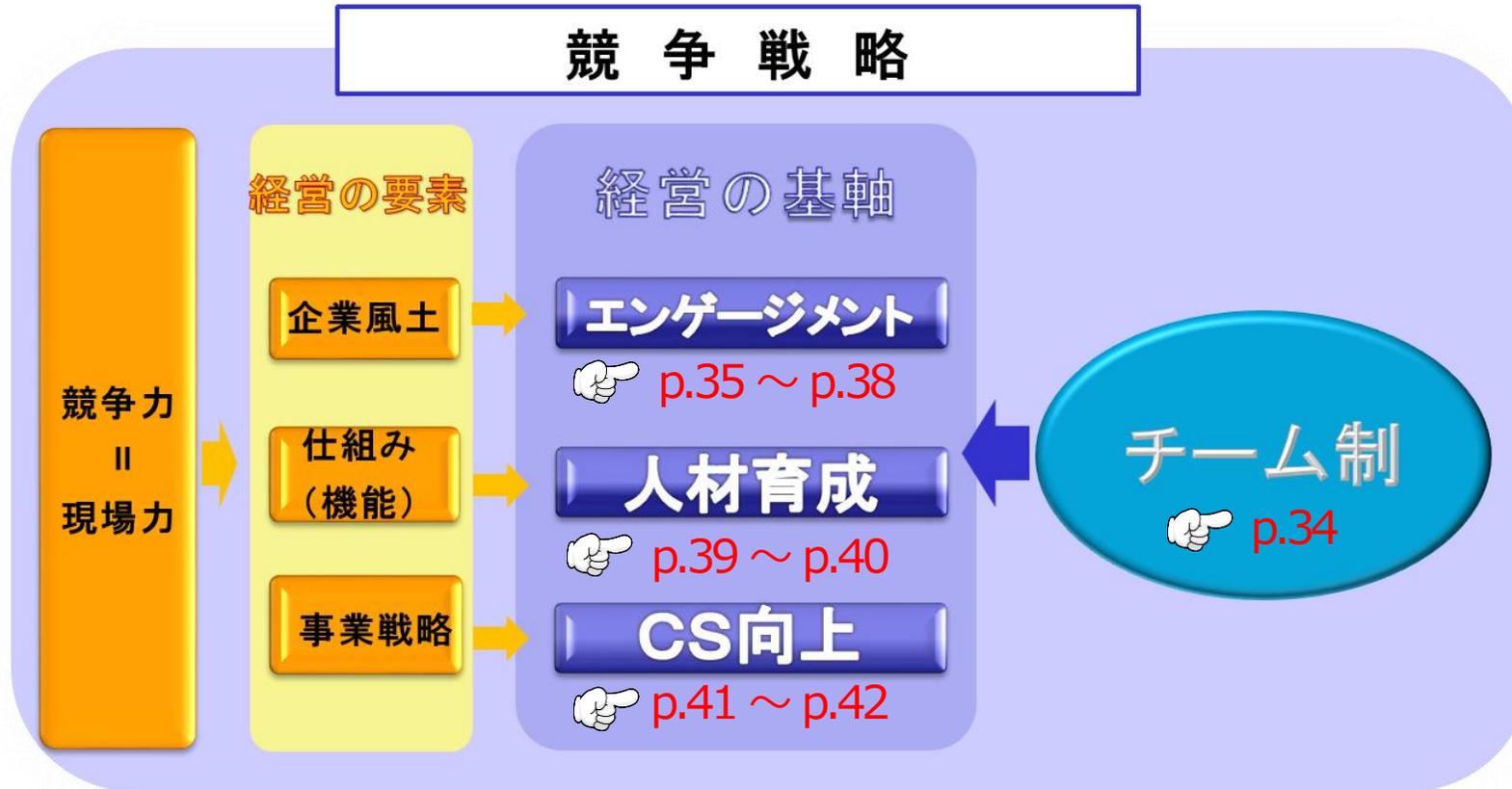
CS向上の基本方針



- **期待**以上
- **役割**以上
- **報酬**以上

お客様に  
感謝と  
感動を！

K S Kグループは量から質への転換を図るため、「エンゲージメント（企業風土）」「人材育成（仕組み）」「CS向上（戦略）」を経営の基軸と位置づけ、エクセレントカンパニーを目指し将来にわたり継続的成長を実現してまいります。



2003年にチーム制を導入して以降、K S K 成長の基盤となる制度です。  
お客様先に常駐する社員が多い特性から、社員の孤立化を回避し、業務リスクを排除する効果も発揮されています。

## チーム制の理念

- ◆ 現場を強くすることでK S Kグループの競争力を高めます（会社）
- ◆ ビジネスの実践を通して社員一人ひとりが自己実現を図ります（従業員）

## チームの機能

- |         |                  |   |
|---------|------------------|---|
| 1. 協働の場 | プロジェクトチーム、生産性の追求 | ・仕事の成果を出す   |
| 2. 成長の場 | 仕事と交流を通じた自己研鑽    | ・刺激し合い、切磋琢磨する                                     |
| 3. 帰属の場 | 自分の居場所としてのコミュニティ | ・自分の存在を認められる<br>・自分の理解者がいる<br>・本音を出せる<br>・安らぎを感じる |

本社をはじめ、各拠点のある地元自治体と協働で清掃活動等のエコ活動に参加し、地域環境の整備と良好な地域コミュニティの形成に貢献しております。

## Team KSK ECO CLUB

2011年以降、主催した清掃活動は61回  
延べ2,543名が参加  
回収したゴミの総重量は約1.7トン



社内ボランティア組織の  
エコ活動をK S Kが物心両面  
で支援



グループ社員同士が、絆や誇り  
を持てる企業風土を共有するため  
に、社会貢献と環境保護をテーマ  
にした活動



社会への無償の貢献実感が  
自らの存在意義の確認を経て  
誇りへとつながる

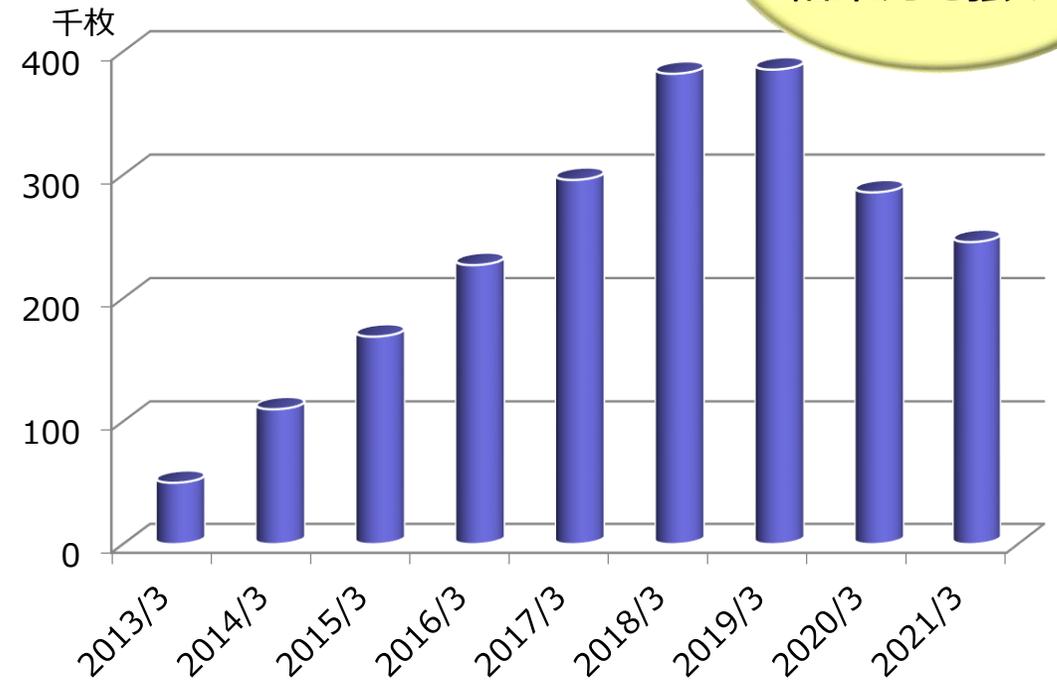


エンゲージメントを高める明るい職場づくりの施策として、“**ありがとうの気持ち**” を伝える  
 «スマイルカード» を全社展開しております。

## 讚え合う良い風土

-  お互いを褒め合うことでお互いの良いところを伸ばし合う
-  相手への関心が良きチームワークへとつながる
-  感謝し合うことの積み重ねが相手を思いやる気持ち、助け合う職場をつくる

Smile Card発行枚数の推移



『ありがとう』  
の言葉の連鎖が  
結束力を強める

チームのメンバーが自分たちで選定した本を読み、その感想や意見を述べ合うことで、チームメンバーの相互理解を深める読書会を実施しています。2020年度は 1,692冊を配付、1,149名が読書会に参加

その人が読んでいる本を知るとは、**その人を知ること**である



K S KグループではI T企業では珍しく5 S活動を積極的に行っており、外部のコンサルタントからも高い評価をいただいております。

5 S活動は、『徹底したムダの排除であり、問題点を顕在化して問題解決する**体質づくり**』  
～単なる美化運動でも掃除だけでもない～ ⇒ 5 Sの真髄は「**見える化**」

### コロナ禍でも5 S活動を推進

テレワークにより、活動や訪問診断ができないオンサイト（お客様内フロア）での活動に対して、活動活性化のため各種企画を実施中

- 外部コンサルタントによる5 S講演会（Zoom併用）
- オンサイト「5 S改善アイデア」コンテスト
- 自宅の5 Sコンテスト

5Sをやって  
心がきれい  
になりました



13チーム



31チーム

人材の確保と育成は経営の最優先課題と捉え、技術研修に加え、人間力研修にも力を入れ、技術力と人間力、バランスの取れた人材の育成を行っております。

### 【自律できる技術者の育成】

人間力研修	技術研修
新入社員向け	システム・ネットワーク分野
若手社員向け	ソフトウェア分野
中堅社員向け	組込みソフトウェア分野
管理者向け	ハードウェア分野

年間カリキュラム（120種）

### 【教育機関の設置】

専任講師：7名

研修設備：386席、11教室、研修寮あり



主な資格の資格取得者数は以下の通り。  
社員 1 人あたりの平均資格保有数は 3.7 個となっております。

資格	取得人数	2020年度取得者数
P M P	233名	63名
L P I Cレベル3	163名	32名
C C N P	95名	1名
応用情報技術者	63名	7名
VMware認定プロフェッショナル	104名	34名
VMware認定アドバンスプロフェッショナル	3名	1名
C C N A	1,059名	143名
I T I Lファンデーション	727名	60名
G検定 (A I)	56名	1名

平均資格保有数 3.7 個 / 人

(2021/4/30時点)

毎年1回、お客様に27項目におよぶアンケートを実施。回答いただいた内容はしっかりフォローしCS向上につなげております。

## 目的

- お客様の評価（声）に対する改善活動を行い、お客様の不満点を解決し、業績向上につなげる。

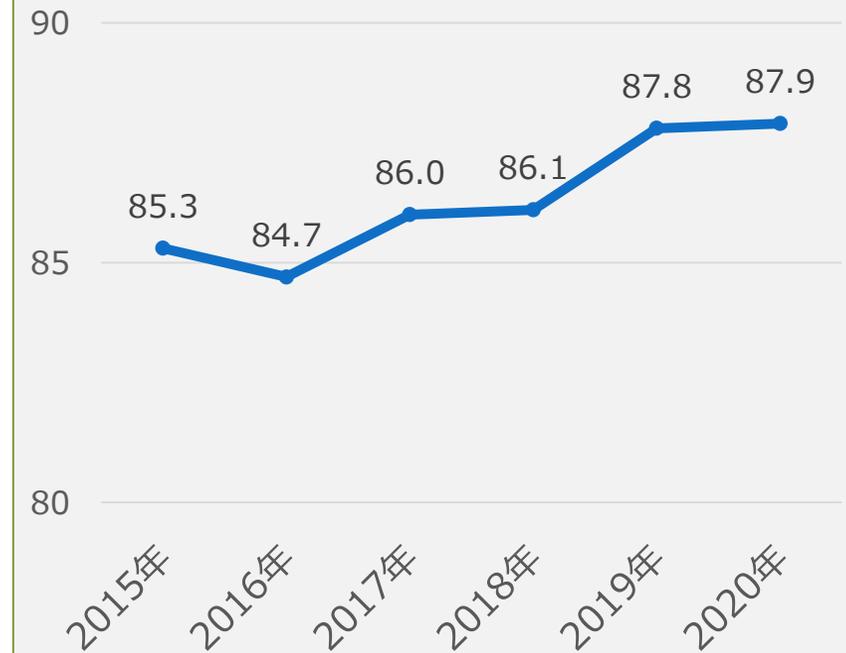
## 方法

- 現場が任意で対象先を選定する
- 定点調査（毎年同時期、原則同じ質問）

## 項目

- 管理者・営業対応
  - 技術力
  - トラブル対応等
  - 人間力
  - セキュリティ
  - マナー
- 合計27項目

## 調査結果推移

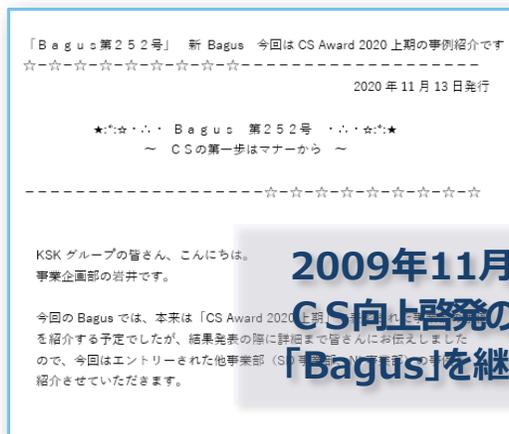


## CS I【Customer Satisfaction Institute】

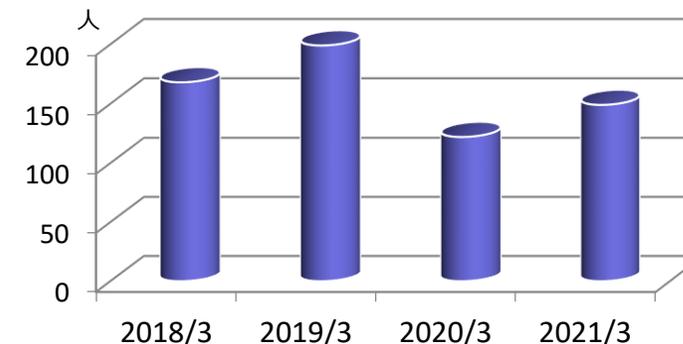
CS向上の実効性を高めるため、入社2～4年目の全社員を対象にCS I 研修を実施しております。

### 研修カリキュラム

- CSの重要性を理解させる
- テーマについてグループディスカッション
- 検討結果をチーム別に発表
- CS向上のための行動計画作成



研修受講者数の推移



### 階層別研修

2019年度からは新入社員向け・中堅社員向け研修を加え、階層別研修として、さらに充実を図っております。

	顧客満足入門セミナー	中堅社員セミナー
対象者	1.新入社員 2.中途入社(未経験・第二新卒)	管理職・中堅社員
概要	未経験入社社員に対して実施するCS概念の基礎教育	CSを構成する当社ビジネスの要素を考えて議論する場

K S Kグループの長期的、継続的な成長を実現するためには、その主体である従業員一人ひとりの健康が不可欠であると考え、2014年10月に「健康経営宣言」を掲げ、代表取締役社長を健康経営担当の最高責任者に任命し、「心・技・体」三位一体の人づくりに取り組んでおります。

### 健康経営の主な取り組み

1

#### エンゲージメント重視の経営

上司や仲間と支え合う心の「絆」の形成

2

#### 全社禁煙宣言

2015年11月に「喫煙者ゼロ」を達成

3

#### わくわく健康プラン

社員一人ひとりの健康促進プログラムの展開  
(参加率75% ※2020年3月現在)

4

#### 定期健康診断の受診

定期健康診断受診率100%を継続

5

#### エンジェル アシスト

健診結果の有所見者100%フォロー活動

6

#### 長時間勤務撲滅

長時間勤務モニタリング制度による事前チェック

K S Kグループの健康経営への取り組みが、学会誌等に紹介されました。

### 【日本健康教育学会誌】

#### 喫煙者0人への活動と「わくわく健康プラン」によるアプローチ —株式会社KSKの健康増進施策の取り組み—

##### 【要旨】

K S Kグループでは2013年4月より禁煙運動を開始した。その結果、喫煙率は当初の31%から喫煙者0人への減少を達成するに至った。しかしながら、社員の健康維持・増進のためには禁煙運動だけでは不十分であると考え、社員が自発的に楽しく取り組める長期的な健康活動「わくわく健康プラン」についても発足させた。本施策は、社員が自由に個々の健康課題への目標に向かって活動する内容とした。その結果、項目ごとの健康診断有所見率、ならびに健康習慣が改善し、生産性の向上をもたらした。



(2020年11月掲載)

### 【経団連事業サービス 人事賃金センター 編】

#### 職務研究 —特集 / 健康管理・増進施策—

##### 【要旨】

K S Kグループの健康経営への具体的な取り組みとして

1. 禁煙運動による喫煙者0人の達成  
～健康経営への第1歩～
  2. 健康増進プログラム「わくわく健康プラン」
  3. 定期健康診断受診率100%維持
  4. 健康診断受診後のフォロー  
「エンジェルアシスト」
  5. 「適正飲酒推進」プロジェクト
  6. スマホ健康使用運動
  7. メンタルヘルスケアへの対策
  8. 感染症(新型コロナウイルス)対策
- その他各種エンゲージメント施策について紹介



(2021年5月掲載)

## 健康経営 「健康経営銘柄」に選定

2021年2月、経済産業省と東京証券取引所が共同で、上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選出する「健康経営銘柄」に3年連続で選定されました。



## 「健康経営銘柄2021」選定企業（29業種48社、業種順）

業種	銘柄コード	企業名	選定回数
情報・通信業	4013	日通システム株式会社	初選定
	4689	Zホールディングス株式会社	3回目
	9432	日本電信電話株式会社	初選定
	9687	株式会社KSK	3回目
	9719	SCSK株式会社	7回目

出典：経済産業省ウェブサイトより



あわせて、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人（ホワイト500）」にも5年連続で認定されました。

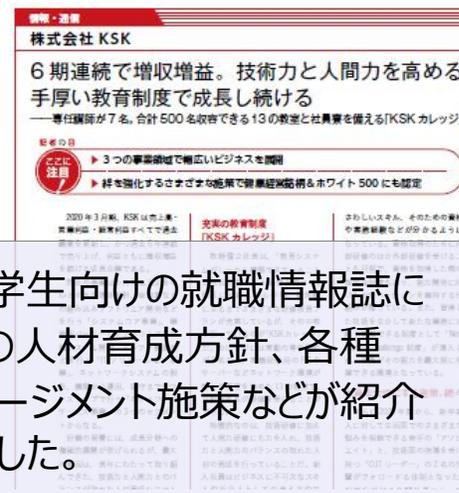
K S Kグループが経営の基軸とする「チーム制」や「エンゲージメント」、「人材育成」などへの取り組みが、本に紹介されました。

「この働き方改革が  
企業と従業員を変える」  
大和総研経営コンサルティング本部 [編]



- AI やロボット、IT の技術革新等、目まぐるしく変化する環境に対し、人材の育成や活用をどのようにマネジメントするかを考察。
- 「働きやすい職場環境づくり」に向けた、「エンゲージメント」「人材育成」など、K S Kの各種取り組みが約50ページにわたり取り上げられました。

「理系学生必見!!  
入社したくなる会社60社」  
日刊工業新聞特別取材班 [編]

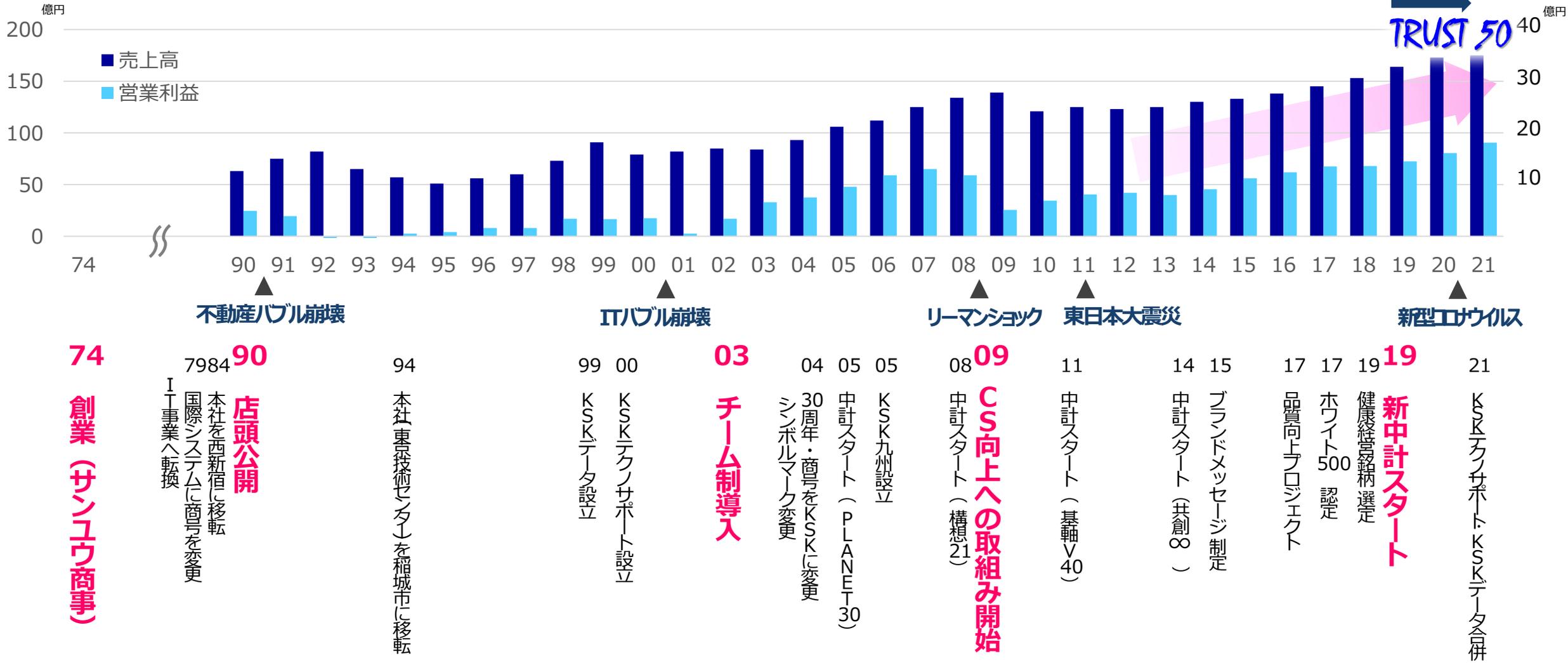


- 理系学生向けの就職情報誌にKSKの人材育成方針、各種エンゲージメント施策などが紹介されました。



5

# Appendix ～ご参考～



決算年月		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	(百万円)	14,540	15,351	16,421	17,274	17,547
経常利益	(百万円)	1,285	1,389	1,402	1,651	2,275
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	895	941	932	1,083	1,533
包括利益	(百万円)	1,010	1,040	936	1,079	1,496
純資産額	(百万円)	9,551	10,330	10,842	11,444	12,546
総資産額	(百万円)	13,381	14,311	15,270	15,550	17,624
1株当たり純資産額	(円)	1,569.39	1,695.83	1,805.69	1,883.43	2,076.29
1株当たり当期純利益	(円)	146.00	155.95	155.21	181.48	256.47
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)	144.05	153.15	152.07	177.73	251.56
自己資本比率	(%)	70.8	71.5	70.3	72.8	70.3
自己資本利益率	(%)	9.8	9.5	8.9	9.8	12.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	1,035	966	1,338	1,388	2,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△356	△479	△1,031	△101	△574
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△392	△267	△446	△571	△427
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	4,163	4,383	4,243	4,960	6,253
従業員数	(人)	1,765	1,854	1,955	2,075	2,186

# ありがとうございました

お問い合わせ先

I R 担当 取締役執行役員 管理本部長

川辺 恭輔

管理本部 経営企画担当

金谷 新

TEL. 050-3803-8100

<https://www.ksk.co.jp>

- 本資料は、当社グループの業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、実際の施策や業績は、今後の事業環境等の変化により異なる場合や予告なしに変更されることがあります。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。